



2012
新春号

ほっと石川

特集

石川ファンの拡大目指して
県民みんなで
“おもてなし”

トピックス

石川県立音楽堂 開館から10周年
“音楽”という贈り物を、
これからも皆さんに。



特集
石川ファンの拡大目指して
県民みんなで
“おもてなし” …… 2

トピックス
石川県立音楽堂
開館から10周年
“音楽”という贈り物を、
これからも皆さんに。 …… 8

知事の窓 …… 12

ほほえみ 石川のボランティア
輪島市災害ボランティアの会 …… 12

輝け石川の星
釜田 佳直さん …… 13
(金沢高校3年)

里山里海だより
神子原地区(羽咋市) …… 14

NEW ふるさとの歴史・文化を探る
県九谷焼美術館(加賀市) …… 15

いしかわ
食のてんこもりフェスタ …… 16

表紙について

■シリーズ
いしかわのお楽しみスポット
雪だるままつり(白山市)

白山市桑島地区と白峰地区で1月下旬から2月上旬に開かれる「雪だるままつり」は、石川を代表する冬の一大イベントです。住民の皆さんが作った大小さまざまな雪だるま約2000個が軒先に並び、夜にはライトアップするほか、白峰地区の味覚を食べ歩くオリエンテーリングなどのイベントもいろいろと企画しています。雪だるままつりのキャッチフレーズは、「明日忘れる豪華さよりも 永遠に心に残る素朴さを」。県では、この言葉と同様に、来県された方々に温かなおもてなしで心に響く石川の旅を楽しんでほしいと考えています。県民の皆さんができるおもてなしも数多くあります。詳しくは、特集をご覧ください。

表紙イラスト制作/アマヤギドウ ジュン(金沢市在住)

特集

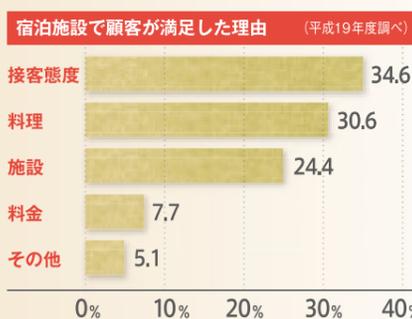
平成26年度末までの北陸新幹線金沢開業に向けて、工事が着実に進められています。首都圏と石川を約2時間半で結ぶ大動脈の完成をきっかけとした交流人口の拡大を目指し、県では多彩な観光振興に力を注いでいます。

そのひとつが「おもてなしの向上」です。観光業や宿泊業に携わる人だけでなく、県民一人ひとりが訪れた人を温かく迎えることで、石川ファンの拡大に結び付けるのが目的です。県では、ここ石川が「おもてなし」の心に満ちあふれた観光地になるよう、取り組んでいます。

一人ひとりが
おもてなしの主役

県では、観光振興の指針となる「新ほっと石川観光プラン」を平成23年3月に改定しました。改定版では北陸新幹線金沢開業に向けた課題を整理し、首都圏からの観光客数を現在(平成21年実績)の227万人から、平成27年までに500万人に拡大するなどの目標を掲げています。

平成19年度に実施された調査では、宿泊客が満足したと判断する基準は、料理や施設の充実度よりも、接客態度が最も高いという結果でした。県では、県民総ぐるみでおもてなしを向上させ、「石川にもう一度訪れたい」と感じていただくことで、観光客数の増加につなげたいと考えています。



出典:日本政策投資銀行
「地域を挙げたホスピタリティ向上戦略」

▼金沢駅東口のもてなしドーム地下広場で、もてなし湯茶のふるまいや観光案内を実施



▶金沢もてなし隊は駅前広場で毎週清掃作業を行っています



金箔入り棒茶で
観光客をお出迎え

北陸新幹線金沢開業を控え、玄関口となる金沢駅東周辺では、観光客をもてなすための取り組みが活発化しています。平成23年11月、金沢駅東周辺の町会連合会や大学生の街づくりボランティアグループなどが連携して、「金沢駅東グッドマナーのまち推進協議会」が発足しました。同協議会では、それぞれに活動していた団体が協力し、さらなる取り組みの拡大を目指しています。

そのひとつが、金沢駅東口のもてなしドーム地下広場で実施する「もてなし湯茶のふるまい」です。連携団体の金沢もてなし隊では、冬季を除く毎週土曜の午前10時から正午まで加賀棒茶を無料で振舞っています。お茶は金沢の誇る伝統工芸・金箔入りで、茶の文化が根づく金沢らしいおもてなしが好評のため、同協議会ではこの取り組みを冬季にも拡充できるよう、連携を深めていく予定です。

マナーの良い
美しいまちへ

また、ドーム周辺のゴミ清掃や草むしりなどの美化活動にも力を入れています。「駅に着いた途端、タバコや空き缶が捨てられていたりすると、いい気持ちがありませんから」と、金沢もてなし隊総リーダーで協議会会員の宮岸佑一さんは話してくれました。協議会では、今後も各団体が力を合わせ、マナーのよい美しいまち、もてなしのまち金沢のPRに力を注いでいく考えです。

石川ファンの
拡大目指して
県民みんなで
“おもてなし”



金沢駅東グッドマナーのまち推進協議会
宮岸 佑一さん
みやぎし ゆういち